

環001	項目名	浄化槽事務費			所属名	環境下水道部 下水道企画課																
主要な施策	事務費	ページ	35																			
年度	H27	事業の概要																				
会計名	【問合せ先】下水道経営課庶務係 0857-20-3923																					
一般会計	【9次総の施策体系】4101																					
款	衛生費	【予算上の経過】																				
項	保健衛生費	予算事業別概要目次：当初予算・P214（環001）																				
目	公害対策費	【事業の概要】																				
(単位:千円)		○主な権限委譲事務																				
当初予算額	2,457	・浄化槽設置届出書の受理、審査、審査結果通知、浄化槽台帳への記録																				
補正予算額	11	・法定検査報告書の受理・改善指導、市民への広報・啓発活動、苦情処理等の事務																				
予算流・充用額	0	○浄化槽設置基数																				
		4,900基（平成28年3月末現在）																				
最終予算額	2,468	【事業の成果】																				
本年度決算額	2,431	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>H27</td> <td>H26</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>・浄化槽設置届等各種届出書の受理</td> <td>8,389件</td> <td>3,104件</td> <td>3,152件</td> </tr> <tr> <td>・保守点検又は清掃の助言</td> <td>79件</td> <td>74件</td> <td>33件</td> </tr> <tr> <td>・指導助言</td> <td>2,205件</td> <td>2,359件</td> <td>2,316件</td> </tr> </table>					H27	H26	H25	・浄化槽設置届等各種届出書の受理	8,389件	3,104件	3,152件	・保守点検又は清掃の助言	79件	74件	33件	・指導助言	2,205件	2,359件	2,316件	
	H27	H26	H25																			
・浄化槽設置届等各種届出書の受理	8,389件	3,104件	3,152件																			
・保守点検又は清掃の助言	79件	74件	33件																			
・指導助言	2,205件	2,359件	2,316件																			
区分	決算額	※H27～保守点検、清掃実績の受理が始まったことにより大幅に増加した。																				
財源内訳	国・県支出金	【今後の課題・方向性】																				
	0	浄化槽の保守点検実施率（H27 84％）に比べて、浄化槽の清掃実施率（H27 57.3％）及び法定検査受検率（H27 55.7％）が低いため、清掃未実施者及び法定検査未受検者へPR・指導を行い、受検率向上を図る。																				
	0																					
	0																					
	0																					
	0																					
	0																					
	0																					
	0																					
	0																					
	2,431																					
(参考)		評価結果																				
前年度決算額	2,437	浄化槽の保守点検実施率（H26 82.8％）に比べて、浄化槽の清掃実施率（H26 44.1％）及び法定検査受検率（H26 54.2％）が低いため、清掃未実施者及び法定検査未受検者へPR・指導を行い、受検率向上を図る。																				

環002	項目名	下水道等事業会計へ繰出(集落排水事業)			所属名	環境下水道部 下水道企画課
主要な施策	下水道等事業会計へ繰出	ページ	39			
年度	H27	事業の概要				
会計名	【問合せ先】下水道企画課総務係 0857-20-3315					
一般会計	【9次総の施策体系】4101					
款	農林水産業費	【予算上の経過】				
項	他会計繰出	予算事業別概要目次：当初予算・P214（環002）				
目	下水道等事業会計へ繰出	【事業の概要】				
(単位:千円)		下水道等事業会計への繰出金				
当初予算額	1,129,966	<集落排水事業分>				
補正予算額	772,117	・集落排水施設維持管理費分				
予算流・充用額	0	・集落排水施設建設費分				
		・公債費分				
最終予算額	1,902,083	【事業の成果】				
本年度決算額	1,886,583	下水道等事業会計（集落排水事業）への繰出額				
区分	決算額	平成25年度 1,285,741,000円				
財源内訳	国・県支出金	平成26年度 1,723,058,000円				
	0	平成27年度 1,886,583,000円				
	44,900	（翌年度繰越額 12,900,000円 合併特例債分）				
	0	【今後の課題・方向性】				
	0	下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査等により、繰出金の縮減を図る。				
	0					
	0					
	0					
	0					
	0					
	0					
	1,841,683					
	1,886,583					
(参考)		評価結果				
前年度決算額	1,723,058	下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査等により、繰出金の縮減を図る。				

環003	項目名	下水道等事業会計へ繰出(公共下水道事業)		
主要な施策	下水道等事業会計へ繰出	ページ	42	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 下水道企画課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】下水道企画課総務係 0857-20-3315			
款 土木費	【9次総の施策体系】4101			
項 他会計繰出	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P215（環003）			
目 下水道等事業会計へ繰出	【事業の概要】 下水道等事業会計への繰出金 <公共下水道事業分> ・下水道施設維持管理費分 ・下水道施設建設費分 ・公債費分			
(単位:千円)	【事業の成果】 下水道等事業会計(公共下水道事業)への繰出額 平成25年度 3,114,910,000円 平成26年度 2,777,522,000円 平成27年度 3,413,789,000円			
当初予算額	3,108,774	【今後の課題・方向性】 下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査等により、繰出金の縮減を図る。		
補正予算額	305,015			
予算流・充用額	0			
最終予算額	3,413,789	評価結果		
本年度決算額	3,413,789	下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査等により、繰出金の縮減を図る。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		下水道使用料等収入金の確保、各種事業内容の精査等により、繰出金の縮減を図る。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	3,413,789			
計	3,413,789			
(参考)				
前年度決算額	2,777,522			

環004	項目名	飼い犬登録及び狂犬病予防事業費		
主要な施策	飼い犬登録及び狂犬病予防事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218			
款 衛生費	【9次総の施策体系】4102			
項 保健衛生費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P215（環004） 2月補正予算・P48（494）			
目 予防費	【事業の概要】 ・4月及び6月に市内の各地区公民館を県獣医師会派遣獣医師と周り、集合注射を行う。 また、それに合わせて新規登録の鑑札及び狂犬病予防注射済票の交付を行う。 ・市内指定動物病院での業務委託での鑑札及び注射済票交付 ・市窓口での鑑札及び注射済票の交付			
(単位:千円)	【事業の成果】 飼い犬の登録及び狂犬病予防注射を行い、公衆衛生の向上を図った。			
当初予算額	1,921	決算額		
補正予算額	52	飼い犬登録数		
予算流・充用額	0	狂犬病予防注射数		
最終予算額	1,973	平成25年度 1,561千円 7,493頭 6,115頭		
本年度決算額	1,825	平成26年度 1,835千円 7,477頭 6,074頭		
区分	決算額	平成27年度 1,825千円 7,362頭 5,968頭		
財源内訳		【今後の課題・方向性】 今後とも法令で定められた登録、予防注射、諸手続きを着実に実施していくとともに、事業の周知や問い合わせに対し適切に対応する。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	1,825			
一般財源	0			
計	1,825			
(参考)		評価結果		
前年度決算額	1,835	今後とも法令で定められた登録、予防注射、諸手続きを着実に実施していくとともに、事業の周知や問い合わせに対し適切に対応する。		

環005	項目名	名木・古木保存費		
主要な施策	樹木保全事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218			
款 衛生費	【9次総の施策体系】4102			
項 保健衛生費	【予算計上の経過】			
目 環境衛生費	予算事業別概要目次：当初予算・P216（環005） 2月補正予算・P48（496）			
(単位:千円)	【事業の概要】			
当初予算額	2,101	良好な自然環境の確保及び地域的美観風致を維持するため、鳥取市自然保護及び環境保全条例に基づき、保護地区、保存樹木等について、昭和53年から指定を行っており、現在27か所指定している。看板等の修繕、管理謝礼の支出、保存樹木等保全事業補助等を実施し、適切な保全を図る。		
補正予算額	△7	【事業の成果】		
予算流・充用額	0	表示看板等の修繕取替 指定保存樹木等管理謝礼（6,000円×27か所） 鳥取市指定保護地区及び保存樹木等保全事業補助金 国安稲荷神社シイ保全事業 補助率1/2 聖神社社行叢保全事業 補助率1/2		
最終予算額	2,094	※松枯れ防止薬剤注入（5年に1回）		
本年度決算額	2,062	保存樹木のうち賀露神社、砂丘一里松、倉田参道の松に、松くい虫被害予防のための薬剤を定期的に投入する。（前回実施時期・平成24年度）		
区分	決算額	平成25年度 631千円 平成26年度 348千円 平成27年度 2,062千円		
財源内訳	国・県支出金 0 地方債 0 その他 0 一般財源 2,062 計 2,062	その他財源の内訳		
		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0		
(参考)	前年度決算額 348	評価結果 市の指定樹木保存のために不可欠な制度であり、今後も継続して実施していく。ただし、樹木の老朽化に伴い、補助の内容や補助上限額等、実態に合わせ適切に見直す必要がある。		

環006	項目名	住宅用自然エネルギー導入促進事業費		
主要な施策	新エネルギー利用普及推進事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218			
款 衛生費	【9次総の施策体系】4101			
項 保健衛生費	【予算計上の経過】			
目 環境衛生費	予算事業別概要目次：当初予算・P216（環006）			
(単位:千円)	【事業の概要】			
当初予算額	6,900	自然エネルギーの普及による温室効果ガスの排出量削減と化石燃料の代替燃料の普及のため、購入・設置費用を補助する。		
補正予算額	0	<補助金額>		
予算流・充用額	0	・太陽光発電（一線越明許費） 太陽電池出力1kw当たり7.5万円を補助（上限30万円） ・小型風力発電施設 設置に要する経費の1/10を補助（上限10万円） ・ベレットストーブ 設置に要する経費の1/10を補助（上限6万円） ・薪ストーブ 設置に要する経費の1/10を補助（上限6万円） ・太陽熱温水器 設置に要する経費の1/10を補助（上限2万円） ・民生用燃料電池システム 設置に要する経費の1/10を補助（上限18万円） ・その他自然エネルギー 設置に要する経費の1/10を補助（上限5万円）		
最終予算額	6,900	【事業の成果】		
本年度決算額	5,614	平成25年度 平成26年度 平成27年度		
区分	決算額	・太陽光発電 459件 296件 209件 ※平成27年度は線越明許費で補助 ・薪ストーブ 20件 16件 27件 ・太陽熱温水器 45件 28件 21件 ・民生用燃料電池システム 22件 20件 25件 計 546件 360件 282件		
財源内訳	国・県支出金 2,807 地方債 0 その他 0 一般財源 2,807 計 5,614	【今後の課題・方向性】 設置経費の低価格化や自然エネルギー促進をとりまく状況の変化などに伴い、今後の方針を検討し補助基準額等を見直す必要がある。		
		その他財源の内訳		
		分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈入金 0 その他 0		
(参考)	前年度決算額 89,029	評価結果 激変緩和等（補助基準額等を見直し）を行い、補助内容の縮小・廃止に向けた調整を行う。		

環007	項目名	湖山池浄化対策費		
主要な施策	湖山池浄化対策費		ページ	35
年度	H27		所 属 名	
			環境下水道部 生活環境課	
事業の概要				
<p>【問合せ先】環境衛生係 0857-20-3216 【9次総の施策体系】4102 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P217（環007） 2月補正予算・P49（502）</p> <p>【事業の概要】 ・巡視員によるパトロール ・湖山池周辺地域町内会台所用ろ過袋幹旋 ・湖山池の取組みを市民と情報共有し意見を参考にするプレミアムサロンを開催 ・高塩分化に伴う各種環境モニタリングの実施 ・アダプトプログラム制度導入による湖山池の環境保全の推進</p> <p>【事業の成果】 ①湖山池の汽水湖化の取組みを周辺住民と意見交換し、専門家の助言提案をいただく「湖山池プレミアムサロン」を周辺6地区で実施した。 ②湖山川水門の全門開放を行った結果、ヒシ、アオコの発生は皆無であった。これにより、景観の改善、悪臭の解消が図られた。一方、汽水湖化による生態系の変化が心配され、環境モニタリング調査（動物・植物プランクトン、トンボ類、鳥類、水草）を実施した。 ③湖山池の浄化対策、水質改善のため、台所用ろ過袋の購入助成を行うとともに、生活排水対策推進計画に沿った啓発活動を推進した。 ④水質浄化（貧酸素化対策含む）のため、流動促進装置を試験的に導入した。 平成25年度 11,372千円 平成26年度 4,650千円 平成27年度 7,634千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 湖山池浄化の取組みは、本市の重要施策であり、今後とも市民との協働により事業を実施していく。</p> <p>※その他財源の諸収入は、ろ過袋幹旋事業収入。</p>				
<p>【参考】</p> <p>前年度決算額 4,650</p>			<p>評価結果 湖山池浄化の取組みは、本市の重要施策であり、今後とも市民との協働により事業を実施していく。</p>	
会計名	一般会計			
款	衛生費			
項	保健衛生費			
目	公害対策費			
(単位:千円)				
当初予算額	10,222			
補正予算額	△ 1,726			
予算流・充用額	0			
最終予算額	8,496			
本年度決算額	7,634			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	491		
	地方債	0		
	その他	92		
	一般財源	7,051		
	計	7,634		
その他財源の内訳				
	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	92		
	その他	0		

環008	項目名	ごみの減量化及び再資源化対策費																		
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費		ページ	35																
年度	H27		所 属 名																	
			環境下水道部 生活環境課																	
事業の概要																				
<p>【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217 【9次総の施策体系】4101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P217（環008）</p> <p>【事業の概要】 ごみの再資源化と減量化を推進することを目的に、再資源化等推進事業に協力する団体に対し、奨励金を交付する。 奨励金単価：古紙類（新聞紙、ダンボール、雑誌等）・・・6円/kg 布類、金属類、ビン類等・・・4円/kg・本</p> <p>【事業の成果】</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>古紙類・アルミ缶等</td> <td>ビン類</td> <td>奨励金総額</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>3,262,112kg</td> <td>24,581本</td> <td>19,351千円</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>3,108,923kg</td> <td>18,763本</td> <td>18,414千円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>2,868,674kg</td> <td>19,759本</td> <td>16,965千円</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 本市の喫緊の課題であるごみの減量化のため、必要不可欠な施策である。現在のところ制度の見直し等は必要ないが、目標値を下回らないよう市民への啓発に努める。</p>				古紙類・アルミ缶等	ビン類	奨励金総額	平成25年度	3,262,112kg	24,581本	19,351千円	平成26年度	3,108,923kg	18,763本	18,414千円	平成27年度	2,868,674kg	19,759本	16,965千円		
	古紙類・アルミ缶等	ビン類	奨励金総額																	
平成25年度	3,262,112kg	24,581本	19,351千円																	
平成26年度	3,108,923kg	18,763本	18,414千円																	
平成27年度	2,868,674kg	19,759本	16,965千円																	
<p>【参考】</p> <p>前年度決算額 18,414</p>			<p>評価結果 本市の喫緊の課題であるごみの減量化のため、必要不可欠な施策である。現在のところ制度の見直し等は必要ないが、目標値を下回らないよう市民への啓発に努める必要がある。</p>																	
会計名	一般会計																			
款	衛生費																			
項	清掃費																			
目	清掃総務費																			
(単位:千円)																				
当初予算額	19,500																			
補正予算額	0																			
予算流・充用額	0																			
最終予算額	19,500																			
本年度決算額	16,965																			
区分	決算額																			
財源内訳	国・県支出金	0																		
	地方債	0																		
	その他	16,965																		
	一般財源	0																		
	計	16,965																		
その他財源の内訳																				
	分担金	0																		
	負担金	0																		
	使用料	0																		
	手数料	16,965																		
	財産収入	0																		
	寄付金	0																		
	繰入金	0																		
	贈収入	0																		
	その他	0																		

環009	項目名	資源ごみ収集事業費																						
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	35	所 属 名																				
年度	H27	環境下水道部 生活環境課																						
会計名		事業の概要																						
一般会計		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217																						
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101																						
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P218（環009） 2月補正予算・P49（505）																						
目	清掃総務費	【事業の概要】 鳥取地域の家庭から排出される資源ごみの再資源化を図るため、古紙類、食品トレイ、ビン・缶、ペットボトル、プラスチックごみ、小型破碎ごみ、乾電池等に分別し、それぞれ曜日を定め収集運搬を行う。																						
(単位：千円)		【事業の成果】 適切に収集し、家庭から排出される資源ごみの再資源化を図った。																						
当初予算額	294,036	<table border="1"> <tr> <td>古紙類</td> <td>ビン・缶</td> <td>食品トレイ</td> <td>ペットボトル</td> <td>プラスチックごみ</td> </tr> <tr> <td>平成25年度 1,477 t</td> <td>1,734 t</td> <td>32 t</td> <td>311 t</td> <td>2,440 t</td> </tr> <tr> <td>平成26年度 1,178 t</td> <td>1,681 t</td> <td>30 t</td> <td>300 t</td> <td>2,405 t</td> </tr> <tr> <td>平成27年度 1,099 t</td> <td>1,653 t</td> <td>29 t</td> <td>298 t</td> <td>2,401 t</td> </tr> </table>			古紙類	ビン・缶	食品トレイ	ペットボトル	プラスチックごみ	平成25年度 1,477 t	1,734 t	32 t	311 t	2,440 t	平成26年度 1,178 t	1,681 t	30 t	300 t	2,405 t	平成27年度 1,099 t	1,653 t	29 t	298 t	2,401 t
古紙類	ビン・缶	食品トレイ	ペットボトル	プラスチックごみ																				
平成25年度 1,477 t	1,734 t	32 t	311 t	2,440 t																				
平成26年度 1,178 t	1,681 t	30 t	300 t	2,405 t																				
平成27年度 1,099 t	1,653 t	29 t	298 t	2,401 t																				
補正予算額	△ 91	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き資源ごみの再資源化を図っていく。 ※その他財源の諸収入は、古紙類収集事業収入。																						
予算流・充用額	0	【参考】																						
最終予算額	293,945	評価結果 今後も引き続き資源ごみの再資源化を図っていく。																						
本年度決算額	293,910	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>180,708</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>24,048</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	180,708	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	24,048	その他	0		
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	180,708																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収入	24,048																							
その他	0																							
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>204,756</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>89,154</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>293,910</td> </tr> </table>			財源内訳	国・県支出金	0	地方債	0	その他	204,756	一般財源	89,154	計	293,910									
財源内訳	国・県支出金	0																						
地方債	0																							
その他	204,756																							
一般財源	89,154																							
計	293,910																							
前年度決算額	302,022																							

環010	項目名	家庭ごみ有料化事業																				
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	35	所 属 名																		
年度	H27	環境下水道部 生活環境課																				
会計名		事業の概要																				
一般会計		【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218																				
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101																				
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P218（環010） 2月補正予算・P49（506）																				
目	清掃総務費	【事業の概要】 ごみの減量化を推進するため、平成19年10月から家庭ごみの有料化を実施している。家庭ごみの有料化によって、ごみ処理に要する経費等について、市民一人ひとりに意識していただき、ごみの発生抑制・再使用・リサイクルを普及していく。																				
(単位：千円)		【事業の成果】 家庭ごみの有料化は、ごみの減量化に大いに役立っている。																				
当初予算額	128,563	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>可燃ごみ</td> <td>プラスチックごみ</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>27,853t</td> <td>2,440t</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>27,502t</td> <td>2,405t</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>27,304t</td> <td>2,401t</td> </tr> </table>				可燃ごみ	プラスチックごみ	平成25年度	27,853t	2,440t	平成26年度	27,502t	2,405t	平成27年度	27,304t	2,401t						
	可燃ごみ	プラスチックごみ																				
平成25年度	27,853t	2,440t																				
平成26年度	27,502t	2,405t																				
平成27年度	27,304t	2,401t																				
補正予算額	△ 11,791	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き家庭ごみの有料化を実施し、ごみの減量化を図っていく。ただし、ごみ処理手数料は定期的に見直す。																				
予算流・充用額	0	【参考】																				
最終予算額	116,772	評価結果 今後も引き続き家庭ごみの有料化を実施し、ごみの減量化を図っていく。ただし、ごみ処理手数料は定期的に見直す。																				
本年度決算額	115,900	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>110,820</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	110,820	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																					
負担金	0																					
使用料	0																					
手数料	110,820																					
財産収入	0																					
寄付金	0																					
繰入金	0																					
贈収入	0																					
その他	0																					
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <td>財源内訳</td> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>110,820</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,080</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>115,900</td> </tr> </table>			財源内訳	国・県支出金	0	地方債	0	その他	110,820	一般財源	5,080	計	115,900							
財源内訳	国・県支出金	0																				
地方債	0																					
その他	110,820																					
一般財源	5,080																					
計	115,900																					
前年度決算額	104,626																					

環011	項目名	ごみ減量化推進事業費		
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】環境政策係 0857-20-3218		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P219（環011）		
目	清掃総務費	【事業の概要】 家庭ごみの有料化により家庭ごみは減少したが、減量効果を維持し、さらなる減量化・再資源化を積極的に推し進めていく必要がある。そこで、平成24年度より家庭でできる生ごみ堆肥化方法として、段ボールコンポスト講習会を開催するとともに、段ボールコンポスト及びコンポスト容器の購入者に対し、補助金を交付している。		
(単位:千円)		①事業所ごみ減量化の取組 ごみ減量等優良事業所認定・表彰制度の実施		
当初予算額	512	②ごみ減量推進事業 個人及び団体に生ごみ処理容器等の購入補助を実施する 生ごみ処理容器の購入費用の2/3相当額を補助する。ただし上限は設定する。		
補正予算額	0	【事業の成果】 講習会等の普及啓発により、生ごみ減量化に取り組む市民が増加した。		
予算流・充用額	1	講習会参加者数 補助件数		
最終予算額	513	平成25年度 163名 300件		
本年度決算額		平成26年度 43名 116件		
区分		平成27年度 147名 54件		
国・県支出金		【今後の課題・方向性】 誰でもすぐに取り組めるごみダイエット（減量化）を全市的に盛り上げ、市民一丸となって取り組んでいく。		
地方債		誰でもすぐに取り組めるごみダイエット（減量化）を全市的に盛り上げ、市民一丸となって取り組んでいく。		
その他				
一般財源				
計		334		
財源内訳		【参考】		
計		238		
評価結果		今後も継続実施する。ただし、実績が目標に達していないので、更なる市民啓発が必要である。		

環012	項目名	小型家電リサイクル事業費		
主要な施策	ごみの減量化及び再資源化対策費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P219（環012） 2月補正予算・P49（507）		
目	清掃総務費	【事業の概要】 「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に基づき、使用済小型電子機器等を分別収集するため、市役所本庁舎、駅南庁舎及び各総合支所、協力販売店等にて、回収ボックスを利用した拠点回収を行う（平成26年11月開始）。併せて、大型ごみ受付センターで回収された使用済み小型電子機器のピックアップ回収を行う。		
(単位:千円)		【事業の成果】 小型破砕ごみとして埋立処理されていたものを有用資源として売却することにより、資源の有効利用を図った。		
当初予算額	2,042	平成26年度 7t（11月～3月）		
補正予算額	△65	平成27年度 22t		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 使用済小型電子機器等の回収量の維持・増加を図り、事業の充実を図っていく。		
最終予算額	1,977	※その他財源の諸収入は、使用済小型電子機器等売却収入。		
本年度決算額		1,976		
区分				
国・県支出金		0		
地方債		0		
その他		64		
一般財源		1,912		
計		1,976		
財源内訳				
計		942		
評価結果		通常の拠点回収（ボックス回収）と併せ、大型ごみからのピックアップ回収を行うことにより、希少金属のリサイクル促進と最終処分場への搬入量の削減を図っていく。		

環013	項目名	可燃ごみ収集委託費		
主要な施策	ごみ収集委託費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P220（環013） 2月補正予算・P50（510）		
目	塵芥処理費	【事業の概要】 鳥取地域の家庭から出される可燃ごみを適正に収集運搬する。合併地域の家庭から出される可燃ごみ、資源ごみ、小型破碎ごみ、大型ごみを適正に収集運搬する。		
(単位：千円)		【事業の成果】 生活環境を清潔にし、市民の健康で快適な生活を確保している。		
当初予算額	409,956	可燃ごみ収集量		
補正予算額	△261	平成25年度 27,853t		
予算流・充用額	0	平成26年度 27,502t		
最終予算額	409,695	平成27年度 27,304t		
本年度決算額	409,695	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な収集運搬に努める。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳	国・県支出金 0	今後とも引き続き適正に収集運搬する。		
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 409,695			
	計 409,695			
(参考)				
前年度決算額	418,104			

環014	項目名	小型破碎・大型ごみ収集委託費		
主要な施策	ごみ収集委託費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P220（環014） 2月補正予算・P50（511）		
目	塵芥処理費	【事業の概要】 鳥取地域の家庭から出される小型破碎ごみ及び大型ごみを適正に収集運搬する。		
(単位：千円)		【事業の成果】 適切な収集運搬を行った。		
当初予算額	102,014	平成25年度 小型破碎ごみ 1,532t 大型ごみ 238t		
補正予算額	△31	平成26年度 小型破碎ごみ 1,431t 大型ごみ 232t		
予算流・充用額	0	平成27年度 小型破碎ごみ 1,441t 大型ごみ 258t		
最終予算額	101,983	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な収集運搬に努める。		
本年度決算額	101,982	評価結果		
区分	決算額	今後とも引き続き適正な収集運搬に努める。		
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 8,857			
	一般財源 93,125			
	計 101,982			
(参考)				
前年度決算額	98,614			

環015	項目名	ふれあい収集事業費		
主要な施策	ごみ収集委託費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P221（環015） 2月補正予算・P50（512）		
目	塵芥処理費	【事業の概要】 高齢化社会への移行と、住宅事情の変化や核家族化の進行に伴い、高齢者や障がいのある方で、ごみを集積所まで持ち出すことが困難な方への行政サービスを地域共助をテーマとして位置付け、戸別収集を行う。		
(単位:千円)		【事業の成果】 年度末時点のふれあい収集実施件数 平成25年度 8件 平成26年度 7件 平成27年度 15件		
当初予算額	143	【今後の課題・方向性】 年次計画により地域を広げ、全市域での実施を目指す。既存の福祉サービスとの関係や対象者の明確化、ごみ収集運搬委託業者との調整など、問題点の検討を行いながら実施し、制度の充実化を図る。		
補正予算額	△114	【事業の成果】 年度末時点のふれあい収集実施件数 平成25年度 8件 平成26年度 7件 平成27年度 15件		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 年次計画により対象とする地域を広げ、全市域での実施を目的に拡充していく。		
最終予算額	29	【事業の成果】 年度末時点のふれあい収集実施件数 平成25年度 8件 平成26年度 7件 平成27年度 15件		
本年度決算額	29	【今後の課題・方向性】 年次計画により対象とする地域を広げ、全市域での実施を目的に拡充していく。		
区分		【事業の成果】 年度末時点のふれあい収集実施件数 平成25年度 8件 平成26年度 7件 平成27年度 15件		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 年次計画により対象とする地域を広げ、全市域での実施を目的に拡充していく。	
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	29		
	計	29		
(参考)		【今後の課題・方向性】 年次計画により対象とする地域を広げ、全市域での実施を目的に拡充していく。		
前年度決算額	27	【今後の課題・方向性】 年次計画により対象とする地域を広げ、全市域での実施を目的に拡充していく。		

環016	項目名	塵芥車ハイブリッド化補助事業費		
主要な施策	収集車両関係費	ページ	35	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P221（環016）		
目	塵芥処理費	【事業の概要】 本市では鳥取市地球温暖化対策実行計画を策定し、地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の温室効果ガスの排出量の削減を推進することとしている。 塵芥車においては、通常のエンジン車両よりも10%程度燃費が良いと言われているハイブリッド車両にすることにより、塵芥車から排出される温室効果ガスが削減され、併せて廃棄物処理施設周辺で問題となる排気ガスの削減が図られる。 本市の一般廃棄物収集運搬業者がハイブリッド塵芥車を購入する場合、車両本体価格が高額となるため、従来型エンジン車両とハイブリッド車両との差額の半額を補助する。		
(単位:千円)		【事業の成果】 塵芥車から排出される温室効果ガスを削減し、併せて廃棄物処理施設周辺で問題となる排気ガスの削減を図るための取組みとなっている。 平成25年度 補助件数：0件 平成26年度 補助件数：0件 平成27年度 補助件数：1件		
当初予算額	500	【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。		
最終予算額	500	【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。		
本年度決算額	425	【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。		
区分		【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。		
財源内訳	国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。	
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	425		
	計	425		
(参考)		【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。		
前年度決算額	0	【今後の課題・方向性】 継続的に実施し、温室効果ガスの削減を目指す。		

環017	項目名	大型ごみ戸別有料収集事業費			
主要な施策	収集管理事務費	ページ	35	所 属 名	
年度	H27	事業の概要			
会計名		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217			
一般会計		【9次総の施策体系】4101			
款	衛生費	【予算計上の経過】			
項	清掃費	予算事業別概要目次：当初予算・P222（環017）			
目	塵芥処理費	【事業の概要】			
(単位：千円)		市内に店舗を置くコンビニエンスストアチェーンのうち、料金収納サービスや他都市でのごみ処理券等の取扱い実績をもつローソンとポプラ（約40店舗）で納付券を販売する。			
当初予算額	752	また、平成19年10月より全市に納付券制度を拡大したことにより、合併地域の総合支所や小売店でも納付券を取り扱う。			
補正予算額	0	なお、店舗等での取扱い手数料として、売上高の10.5%を事業者に支払っている。			
予算流・充用額	0	【事業の成果】			
最終予算額	752	大型ごみの戸別有料収集について、シール発行による事前納付を可能とすることで市民の利便性を確保し、また安易な不法投棄を防止する。			
本年度決算額	652	平成25年度 690千円			
区分		平成26年度 682千円			
財源内訳	国・県支出金	0	平成27年度 652千円		
	地方債	0	【今後の課題・方向性】		
	その他	652	大型ごみ戸別有料収集について、利便性と不法投棄防止に配慮しながら適切に対応していく。		
	一般財源	0			
	計	652			
(参考)		評価結果			
前年度決算額	682	今後も継続して事業に取り組んでいく。			

環018	項目名	可燃物処理場建設広域負担金			
主要な施策	東部広域行政管理組合負担金(塵芥)	ページ	35	所 属 名	
年度	H27	事業の概要			
会計名		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217			
一般会計		【9次総の施策体系】4101			
款	衛生費	【予算計上の経過】			
項	清掃費	予算事業別概要目次：9月補正予算・P24（環003）			
目	塵芥処理費	2月補正予算・P50（515）			
(単位：千円)		【事業の概要】			
当初予算額	65,018	国のごみ処理広域化計画に基づいて県が策定したごみ処理広域化実施計画を踏まえ、県東部地区15市町村（当時）は可燃ごみを広域処理するための基本協定を締結した。			
補正予算額	202,816	これにより、東部広域行政管理組合は新たにごみ処理施設を建設することとし、早期の新工場供用開始を目指している。			
予算流・充用額	0	県東部地区の可燃ごみの焼却を1つの焼却場に集約することにより、ダイオキシン類等の発生リスクを抑え、かつ可燃ごみを広域処理することでごみ処理にかかるコストを削減する。			
最終予算額	267,834	【事業の成果】			
本年度決算額	267,834	東部広域における事業実施に対する市町村負担金。			
区分		平成25年度 58,720千円			
財源内訳	国・県支出金	0	平成26年度 75,045千円		
	地方債	0	平成27年度 267,834千円		
	その他	0	【事業の内容】		
	一般財源	267,834	①埋蔵文化財調査・ごみ質調査業務		
	計	267,834	②敷地造成工事・施設建設実施設計業務		
(参考)		③施設建設に必要な用地取得			
前年度決算額	75,045	④送電線接続工事			
評価結果		本市の重要施策であり、適切に推進していく。			

環019	項目名	不法投棄監視費	
主要な施策	ごみ不法投棄対策費	ページ	35
年度	H27	所 属 名 環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】 4102		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 2（環018）		
目 塵芥処理費	【事業の概要】 不法投棄対策として、不法投棄の多発地帯に不法投棄防止を呼び掛ける看板や監視カメラを設置する。また、市内の地区公民館単位の、地区住民のボランティアによる不法投棄監視員を設置し、不法投棄を未然に防止する。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	3,240	看板設置数	不法投棄監視員
補正予算額	0	平成25年度 45枚	61地区 368名
予算流・充用額	0	平成26年度 29枚	61地区 365名
最終予算額	3,240	平成27年度 44枚	61地区 369名
本年度決算額	3,148	監視カメラ設置数 平成25年度 17台 平成26年度 19台 平成27年度 19台	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き住民との協働で不法投棄の防止及び迅速な対応に努めていく。	
財源内訳	国・県支出金 384	評価結果	
地方債 0	その他 2,764	今後とも引き続き本制度を継続し、住民との協働で不法投棄の防止及び迅速な対応に努めていく。	
一般財源 0	計 3,148	分担金 0	
計 3,148	負担金 0	使用料 0	
	手数料 2,764	財産収入 0	
	財産収入 0	寄付金 0	
	繰入金 0	繰入金 0	
	贈収入 0	贈収入 0	
	その他 0	その他 0	
(参考)	前年度決算額 1,929		

環020	項目名	不法投棄対策費	
主要な施策	ごみ不法投棄対策費	ページ	35
年度	H27	所 属 名 環境下水道部 生活環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217		
款 衛生費	【9次総の施策体系】 4102		
項 清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 3（環019）		
目 塵芥処理費	【事業の概要】 不法投棄の防止及び事案の処理について、関係者との連絡並びに協議を行うため、平成13年8月に関係課による「鳥取市不法投棄対策協議会」を設置した。公園施設や市道、林道、農道等の不法投棄に対する地元自治会や利用者等の要求に迅速に対応する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 不法投棄について、迅速かつ適切に対応した。		
当初予算額	5,920	不法投棄件数	撤去量
補正予算額	0	平成25年度 118件	92.7㎡
予算流・充用額	0	平成26年度 104件	73.0㎡
最終予算額	5,920	平成27年度 104件	70.0㎡
本年度決算額	2,837	【事業の課題・方向性】 今後も引き続き不法投棄対策を適切に実施していく。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	国・県支出金 0	今後とも引き続き、不法投棄対策を適切に実施していく。	
地方債 0	その他 2,837	分担金 0	
一般財源 0	計 2,837	負担金 0	
計 2,837	手数料 2,837	使用料 0	
	財産収入 0	財産収入 0	
	繰入金 0	寄付金 0	
	繰入金 0	繰入金 0	
	贈収入 0	贈収入 0	
	その他 0	その他 0	
(参考)	前年度決算額 5,906		

環021	項目名	施設維持管理費		
主要な施策	施設維持管理費	ページ	36	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P223（環020） 2月補正予算・P50（521）		
目	清掃工場管理費	【事業の概要】 市内4箇所の清掃工場を維持管理するとともに、大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法等のっとり、施設内外の環境対策を講じる。		
(単位:千円)		【事業の成果】 生活環境を清潔にし、市民の健康で快適な生活を確保している。 平成25年度 53,347千円 平成26年度 59,972千円 平成27年度 56,369千円		
当初予算額	60,520	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
補正予算額	△ 2,221	※その他財源の諸収入は、岩美町特別負担金、八頭環境施設組合特別負担金		
予算流・充用額	0	【事業の内容】 焼却炉耐火物補修、各設備機器の点検整備、老朽化設備機器の更新等を行った。 平成25年度 146,627千円 平成26年度 117,488千円 平成27年度 201,046千円		
最終予算額	58,299	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
本年度決算額	56,369	※その他財源の諸収入は、岩美町特別負担金、八頭環境施設組合特別負担金		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
財源内訳	国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
	地方債 0	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
	その他 56,369	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
	一般財源 0	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
	計 56,369	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
(参考)		【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		
前年度決算額	59,972	【今後の課題・方向性】 今後も引き続き適正な施設の維持管理に努めていく。		

環022	項目名	施設維持管理修繕費		
主要な施策	施設維持管理費	ページ	36	所 属 名
年度	H27	環境下水道部 生活環境課		
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】廃棄物対策係 0857-20-3217		
款	衛生費	【9次総の施策体系】4101		
項	清掃費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P224（環021） 2月補正予算・P51（522）		
目	清掃工場管理費	【事業の概要】 市が設置している可燃ごみ処理施設4工場を安定稼働するため、計画的に定期修繕を行う。		
(単位:千円)		【事業の成果】 計画的に定期修繕を行い、可燃ごみ処理施設4工場は安定的に稼働されている。		
当初予算額	207,958	【事業の内容】 焼却炉耐火物補修、各設備機器の点検整備、老朽化設備機器の更新等を行った。 平成25年度 146,627千円 平成26年度 117,488千円 平成27年度 201,046千円		
補正予算額	△ 4,534	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
最終予算額	203,424	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
本年度決算額	201,046	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
財源内訳	国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
	地方債 0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
	その他 0	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
	一般財源 201,046	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
	計 201,046	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
(参考)		【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		
前年度決算額	117,488	【今後の課題・方向性】 施設の老朽化が進行し修繕費の上昇が懸念される。		

環023	項目名	焼却作業委託費	
主要な施策	焼却作業委託費	ページ	36
年度	H27	所 属 名	
		環境下水道部 生活環境課	
会計名		事業の概要	
一般会計		【問合せ先】 廃棄物対策係 0857-20-3217	
款	衛生費	【9次総の施策体系】 4101	
項	清掃費	【予算計上の経過】	
目	清掃工場管理費	予算事業別概要目次：当初予算・P 2 2 4（環022） 2月補正予算・P 5 1（524）	
(単位:千円)		【事業の概要】	
当初予算額	446,413	市が設置している可燃ごみ処理施設4工場の運転管理を委託する。	
補正予算額	△ 4,045	【事業の成果】	
予算流・充用額	0	可燃ごみ処理施設の安定した運転が継続されている。	
最終予算額	442,368	平成25年度 439,452千円 平成26年度 441,266千円 平成27年度 442,368千円	
本年度決算額	442,368	【今後の課題・方向性】	
区分		今後とも引き続き可燃ごみ処理施設4工場の安全な運転管理に努めていく。	
財源内訳	国・県支出金	0	※その他財源の諸収入は、岩美町・若桜町・八頭町・智頭町ごみ処理負担金。
	地方債	0	
	その他	315,495	
	一般財源	126,873	
	計	442,368	
（参考）		評価結果	
前年度決算額	441,266	今後とも引き続き可燃ごみ処理施設4工場の安全な運転管理に努めていく。	
その他財源の内訳			
分担金	0	手数料	251,740
負担金	0	財産収入	0
使用料	0	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	63,755
		その他	0